

ADB、オランダのメコン環境プログラム向け 1400万ドル無償援助で公式文書を交換

アジア開発銀行（ADB）とオランダ政府は2006年5月31日、大メコン河流域圏（GMS）の中核環境プログラム（CEP）、およびその主要な構成要素である生物多様化保全回廊イニシアチブ（BCI）に対するオランダ政府の1400万ドルの資金きよ出に関する公式文書を交換した。

この式典は、ベトナム・ハノイのADBベトナム事務所で行なわれ、オランダのアンドルー・ハスペル駐ベトナム大使、ADB東南アジア局のアージュン・タパン次長、ADBベトナム事務所の小西歩所長、そしてベトナム天然資源環境省の幹部が出席した。

参加者は、GMS諸国や開発支援機関に対し、加速化する生物多様化の損失や環境の劣化を食い止め、さらに改善することにより、人々の生活を保護し経済発展を確保するよう協力を呼びかけた。

オランダの無償援助資金は、スウェーデン政府や、英国の貧困削減協力基金、そしてADBとの共同資金拠出となっている。今後3年間に行なうBCIの第一段階の実施を特に支援することになっている。オランダ政府は、既に、ベトナムでは保健セクターと並んで森林や水のセクターへの支援を行っているほか、地域や国境にまたがる問題に関しての支援を強化している。